

ADDICTION NEWS 29

ニュースレター
2017年12月31日発行
日本アディクション看護学会事務局

 **日本アディクション看護学会**
Japanese Society for Study in Addiction Nursing

Topic

第16回日本アディクション看護学会学術集会を終えて
第17回日本アディクション看護学会学術集会開催に向けて
平成29年度アディクション看護学会研修会 ご案内
事務局からのお知らせ

第16回日本アディクション看護学会学術集会を終えて

第16回学術集会大会長 村松 仁（群馬パース大学保健科学部看護学科）

2017年9月2日（土）3日（日）の2日、第16回学術集会を群馬県高崎市の群馬パース大学にて開催致しました。当日は、台風等が危惧されましたが、幸い荒天もなく無事に開催することができました。

これも、日本アディクション看護学会会員の皆様をはじめ、森 千鶴理事長、田中留伊事務局長、企画・実行委員としてご協力下さった皆様、また、各講演の演者の皆様、また、学術集会にご参加下さった皆様の多大なるご協力のお陰と存じます。改めて深く御礼申しあげます。

さて、今回の学術集会について簡単にご報告致します。今回の学術集会テーマは「アディクションを超えて—看護のはたらきを考える—」と致しました。大会長による大会長講演では、アディクション看護とリカバリーについて、故河野裕明先生の思い出も交え講演がなされました。続く基調講演では、赤城高原ホスピタル看護部看護部の山田浩三氏から、赤城高原ホスピタルにおけるアディクション看護の基本的姿勢および近年増加しているクレプトマニアに関する看護の実際等、大変貴重な御講演を頂きました。教育講演では、稗田里香氏と廣中直行氏による講演が行われ、稗田里香氏からは一般科医療におけるアルコール依存症の早期発見と早期対応に関す

る講演が行われ、専門医療機関以外でのアディクション問題への支援について、実践も踏まえた大変貴重な内容が講演されました。また、廣中直行氏からは、アディクションと脳機能に関する講演があり、アディクション関連問題に関する看護の脳科学による根拠科学的根拠となる非常に貴重な講演を頂きました。

一般演題は口頭発表、示説発表合わせて28題の研究発表が行われました。貴重な研究・実践内容の発表があり、アディクション看護の実践に役立つ交流が行われました。

本大会の最後には、特別講演として藤岡ダルクディレクター山本 大氏による藤岡ダルクの活動に関する講演と、藤岡ダルクメンバーの皆様によるエイサーが披露されました。エイサーの演舞からは、エイサーに取り組むメンバーの皆様の回復に向けた熱意が、太鼓の轟きと共に参加者に強く強く伝わる非常に感動的なフィナーレとなりました。

最後に、第16回学術集会の開催に際してご協力賜った皆様に深く感謝申し上げ、最後のご挨拶と致します。ありがとうございました。

第17回日本アディクション看護学会学術集会開催に向けて

第17回学術集会大会長 河口 朝子（長崎県立大学看護栄養学部）

第17回日本アディクション看護学会学術集会の大会長を拝命いたしました長崎県立大学看護栄養学部河口朝子と申します。

第17回学術集会は、2018年9月1日（土）、2日（日）に、長崎県立大学シーボルト校で開催いたします。九州での開催は、初めてであり、長崎、佐賀、福岡の近隣の皆様方と関東圏の皆様方のご協力を頂き、準備を進めているところです。

学術集会の開催にあたり、様々な後援の依頼先に出向いております。その際、私は以下のことを繰り返しお話し、アディクション問題に関心を寄せて頂けるように努めております。アディクションの健康問題は、私達の日常生活の身近なところに存在しています。薬物依存・アルコール依存やギャンブル依存、煙草依存、スマホ依存、買い物依存、性依存などアディクションは社会問題となっています。物質依存と対人依存に大別されていますが、「やめたくてもやめられない」のがアディクションです。対人関係の病ともいわれています。ここには、高齢者虐待の背景にある共依存の問題や職場内での共依存の問題もあり、関係性がうまく行かないとき、看護管理者がアディクションの観点から現象を分析すると問題の本質が見えてくることもあります。また、アディクションの健康問題を抱える人々は、小児から高齢者と幅広く、看護が展開される場も病院、高齢者施設、教育現場、地域社会と広範囲に及んでいます。つまり、アディクション看護は、精神看護の領域に留まらず、救急看護、母性看護、老年看護、訪問看護、看護管理など様々な看護領域に及び、予防から治療・療養、そして回復し、社会生活を営むという健康のあらゆる段階の人々を対象とします。このようなアディクション問題を抱える人々は根底に自立できず、他者に依存するという対人関係によって、生きづらさを抱えながら生活している場合があります。特別な人がアディクション問題を抱えるわけではなく、誰もが「やめたくてもやめられない」依存の病を抱える可能性があるのです。そして、このようなアディクションは社会問題の縮図が潜んでいるように思われますと、話をさせて頂くと、先方から「そうです」と熱心に何が課題かということ教えてくださる方、今年度開催されるアディクション関連の学会や研究会の情報、関連団体の代表者の情報を提供して下さる方、また、「そう言って

も関心を寄せる人は医療者でも少ないです。まだまだ特別な領域と認識されています」という現実認識をせざるを得ない返答を返して下さる方と様々です。今日は日取りが悪かった。今度は大安吉日に回りましょうと、みえないものの力をも引き付けて、おひとりでも学術集会に足を運んでいただけるようお願いを込めて、説明しております。

1. 大会テーマ：「生きづらさの語りと共存－アディクションを視野に入れて－」

本大会のテーマは、生きづらさの語りと共存－アディクションを視野に入れて－としました。当事者の語りを元に生きづらさを抱えながら生活される状況を医療関係者のみでなく、行政・福祉職・教育職・地域住民・あらゆる領域の研究者にご理解いただき、共有したいと思います。今回は医療者、当事者、文化人類学、教育学の視点と他の学問領域の方の考えも視野に入れ、そして、予防の観点にも力をいれてアディクション看護を討議したいと思います。また、地域社会との共存を議論できる場となるようプログラムの調整を行っております。

2. 学術集会の主なプログラム概要

(1) 基調講演：水谷修先生

基調講演は、水谷青少年問題研究所所長の水谷修先生です。皆様ご存知のように児童福祉運動家で教育評論家でもあり通称「夜回り先生」として、現在も実践活動や講演活動を行っておられます。著書は、『どこまでも生きぬいて 夜回り先生 50のヒント』PHP研究所、『優しさと勇気の育てかた』日本評論社、『約束』日本評論社、『夜回り先生』小学館と多数の著書があります。

(2) 特別講演Ⅰ：磯野真穂先生

特別講演Ⅰは、国際医療福祉大学大学院講師の磯野真穂先生です。先生の専門は、文化人類学、医療人類学です。摂食障害者の語りをエスノグラフィーの手法でまとめられています。この著書が、『なぜぶつうに食べられないのか』春秋社から出版されています。4年間111時間に及びインタビューを通して「語り」のなかに食の本質を探っておられます。それは「医療が語り得ぬもの」と波平恵美子先生が言われています。

(3) 教育講演：松下年子先生

教育講演は、前日本アディクション看護学会理事長で横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻教授の松下年子先生です。会員の皆様は、松下先生の著書『アディクション看護学』メヂカルフレンド社、『事例から学ぶアディクション・ナーシング』中央法規から沢山の教えを受け実践されていることと思います。今回は、高齢者虐待に見られる共依存の観点からお話をうかがえればと思っております。

(4) 特別講演Ⅱ：杠岳文先生

特別講演Ⅱは、独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター院長の杠岳文先生です。アルコール問題早期介入のストラテジーである HAPPY プログラムを開発・普及されています。

著名な先生方が快く講演をお引き受け頂いておりますので、皆様方の期待に沿えるものと思えます。

(5) その他：シンポジウム、特別企画の教育研修、一般演題、交流集会など

その他には、シンポジウム、特別企画の教育研修として、困難事例の検討です。提供された事例に対して、アディクションの専門家がコンサルテーションし問題解決を共に図りたいと思います。また、一般演題(口演・ポスター)、交流集会などを計画しております。会員の皆様の日頃の研究成果の発表や困難事例の提供、交流集会での話題提供を頂きますようお願い申し上げます。なお、研究発表の内容は、アディクション看護のみに特化しておりません。アディクション関連とストレスマネジメントや対人関係に関することも含めて広く討議したいと思えます。

3. 第17回日本アディクション看護学会学術集会事務局 および会場へのアクセス

学術集会事務局への連絡・問い合わせおよび、一般演題の申し込み、交流集会の申し込みは、下記にご連絡いただきますようお願い申し上げます。

第17回日本アディクション看護学会学術集会事務局

〒851-2195

長崎県西彼杵郡長与町まなび野 1-1-1

長崎県立大学シーボルト校

看護栄養学部看護学科内 (担当：木村)

E-mail : jadict17@sun.ac.jp

大会Webサイト : <http://jadict17.html.xdomain.jp/>

TEL & FAX : 095-813-5203

学会場のアクセス：<http://sun.ac.jp/access/>

長崎県立大学シーボルト校は、長崎市に隣接する長与町にあります。JR 長崎駅から大学まで 6.3Km です。

最後に、日本アディクション看護学会の田中留伊事務局長、森千鶴理事長、並びに理事の皆様方、今年度、盛会な学術集会を納められました村松仁大会長に多大なるご協力、ご指導、ご支援を頂きました。心から感謝申し上げますと共に今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

長崎の地で、2018年9月1日、2日、多数の会員の皆様方とお会いできることを楽しみにしております。(学会ツアーを組まれて綺麗な離島へ足を運ぶもよし、異国情緒のある街並みを散策されるもよし、食べ歩きもよし、<https://www.nagasaki-tabinet.com/>:ながさき旅ネット)



平成 29 年度アディクション看護学会研修会 ご案内

《第 1 回研修会》

平成 30 年 2 月 10 日(土) 9 時 30 分～ 15 時 30 分

時間	テーマ	講師 所属
9 時 30 分～ 10 時	アディクション概説	吉岡幸子 帝京科学大学 看護学科
10 時～ 12 時 30 分	動機付け面接の理解～ 講義と演習と通して動 機付け面接の理解を深 める～	瀬在 泉 防衛医科大学 看護学科
13 時 30 分～ 15 時 30 分	家族支援の基本～ア ディクション当事者と 家族支援の理解とその 対応について学ぶ～	細尾ちあき NPO 法人 ぷるすあるは

《第 2 回研修会》

平成 30 年 2 月 24 日(土) 9 時 30 分～ 15 時 30 分

時間	テーマ	講師 所属
9 時 30 分～ 12 時	アルコール依存症の基 本的理解と対応～専門 職としての対応を学ぶ ～	吉岡幸子 帝京科学大学 看護学科
13 時～ 15 時 30 分	ギャンブル依存の基本 的 understanding と対応～最新 の動向と対応を学ぶ～	新井清美 首都大学東京 看護学科

《参加費》 各回とも、アディクション看護学会 会員 1,000 円 非会員・学生 1,000 円

《研修会場》 帝京科学大学 2 号館 2 階 (2201 教室) 足立区千住元町 34-1

最寄り駅：JR 北千住駅 バス (2 番線乗り場)「千住桜木」下車 2 分

《申し込み・問い合わせ》 メール申し込み：帝京科学大学 吉岡幸子 sa-yoshioka@ntu.ac.jp

編集後記

学術集會に参加できなかった会員様には、学術集會の様子を少しでも感じていただけたでしょうか。来年度の学術集會についても会員様へお届けすることができました。

編集とは名ばかりで、原稿を大会長や委員会の方にたいして、事務局長に依頼していただき、その原稿を

印刷所にメールで送る作業をしているだけです。編集後記も何を書いてよいのやら。只々、原稿を寄せていただきました先生方に感謝申し上げるばかりです。会員様におきましては、御身体ご自愛いただき、ご活躍を祈念しております。

荒木とも子

《事務局からのお知らせ》

学会は会員の皆様の会費で運営されております。平成 29 年度会費のお振込がお済みでない方は、年度内のお振込みにご協力お願い致します。また、振込用紙を紛失された方は下記の口座にお振込みください。

口座番号 00140-1-176756

日本アディクション看護学会

年会費 8,000 円

第 7 期役員選挙のお知らせ

第 6 期役員は、平成 30 年度総会の終了をもって任期が終了いたします。それに伴い、第 7 期役員選挙を実施いたします。

被選挙者、選挙者は平成 29 年 3 月 31 日までに平成 29 年度までの会費を納入している会員とさせていただきます。

(現在会員数 230 名)

日本アディクション看護学会事務局

〒152-8558

東京都目黒区東が丘 2-5-1

東京医療保健大学東が丘・立川看護学部

田中留伊研究室

事務局 e-mail : jadict-office@umin.ac.jp

日本アディクション看護学会補助機関誌

発行：平成 29 年 12 月 31 日

編集長：荒木とも子

発行者：田中 留伊

日本アディクション看護学会事務局